

令和2年度（横浜国際）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 項目・目標別実施結果

項 目	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	職員行動指針を遵守し、公務員としての自覚を持った行動をとる。	○公務員として自覚を持ち、学校の内外を問わず県民や地域の方々から信頼される行動を常に心がけ、職務を遂行するように研修会などで周知した。
職場のハラスメントの行為の防止	パワハラ・セクハラ・マタハラ等の行為を未然に防止する。	○日頃から言葉遣いに留意するよう啓発するとともに、職場研修による具体事例を通じて、教職員全員に当時者意識を醸成した。また、困ったことや気づいたことを管理職に相談・報告できる体制を整えた。
生徒に対するわいせつ、セクハラ等の行為の防止	わいせつ・セクハラ行為を未然に防止する。	○研修会を複数回実施し、具体的事例について、教職員一人ひとりによる問題点の分析と考察をまとめ、そのフィードバックを通じて、ことの重大性に関して共通認識を持たせた。
体罰・不適切指導の防止	体罰・不適切指導を未然に防止する。	○体罰・不適切指導について研修会を行い、生徒に対して人権に配慮した適切な指導をすると同時に体罰・不適切指導の未然防止を徹底した。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成と取扱いに係る事故防止	点検体制を整え、業務を確実にし、適切な処理をしてミスのない書類作成を行う。	○他校での事案などの紹介を通じて、誤りが起こるメカニズムについて折に触れて啓発した。成績処理の計画及び手続きを遵守し、時間的に余裕をもって複数で複数回の点検を実施することにより入学者選抜や成績処理など適切な業務を遂行することができた。
個人情報等の管理及び情報セキュリティ対策の徹底	個人情報等の管理及び情報セキュリティ対策の徹底し、個人情報の流出を未然に防止する。	○個人情報の収集については最低限の人数に限定し、生徒及び保護者の承諾をとり、個人情報の保護や管理を徹底した。また、コロナ禍によって機会が増えたオンライン授業について、クラウド内のデータの取扱いの注意について共通認識を図った。
交通事故、酒気帯び運転の防止と交通法規の遵守	飲酒運転禁止の徹底、交通法規の遵守による交通事故を防止する。	○年末年始や年度の変わり目を中心に交通事故・交通違反・飲酒運転防止のための研修会を実施し、注意喚起を行った。

業務執行体制の確保	教科及びグループ業務の情報共有、業務体制を推進する。	○教科会やグループ会議を定期的に行い、情報共有に努めた。個人に業務が偏らないように役割分担を明確に行い、業務の均一化を図った。
財務事務等の適正な執行	私費会計に関する事故を未然に防止する。	○各部署の会計担当者を集め、研修会を開催し、前年度の反省事項の確認や適切な会計処理の手順などを再確認した。また、コロナ禍によって執行の目途が立たない状況から、決算処理の時期を早めるなど、合理的な処理を実施した。

○ 令和2年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和3年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

令和2年度は、毎月の職員会議や朝の職員打合せにおいて必ず不祥事防止についての注意喚起を行い、不祥事や事故に対する教職員の意識を高めることに繋がった。具体的には、「気にかかること」をそのままにせず、すぐに同僚や管理職へ相談したり報告したりする雰囲気醸成されており、特に入学者選抜業務や日頃の成績処理における点検業務を正確に遂行することができた。

令和3年度は、国際バカロレアコースが3年次まで揃い、コースとして完成し、生徒たちは最終試験に臨む。学校として初めて取り組む最終試験であり、全教職員で情報共有を図り協力して実施したい。